

科目名		住宅計画演習			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	有
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		・住宅計画の基本的な考え方（建物の規模・配置計画・平面計画等）を理解し、設計条件の整理・プランニングの流れを考えられるようになる。独立住宅を題材とし、設計の手法を学びます。 ・オリジナル住宅の計画を行い、エスキス（設計下絵）を完成させ、住宅計画のノウハウを体得することを目的とします。			
学習目標（到達目標）		独立住宅と店舗併用住宅の計画を行い、エスキス（設計下絵）を完成させる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		図解 すまいの寸法・計画事典、配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	住宅計画の基本			・人体寸法、家具、建具など各部の寸法について学ぶ。 ・住宅を計画する上での基本の原則について学ぶ。	
2	快適な空間・暮らしとは（配置計画・外構・ゾーニング・動線計画・採光・構造計画等）			快適な居住空間のために配置計画や採光、ゾーニングや動線計画を学ぶ。	
3	一般的な住宅プランとは 標準的な住宅プランをパターンとして覚える			簡単な住宅設計課題を行う。与条件から、①建物規模の算定 ②建物の配置 ③平面計画 の手順でプランニングを進め、エスキスを完成させ提出する。	
4	1. オリジナル住宅のエスキス			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
5	2. オリジナル住宅のエスキス			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
6	3. オリジナル店舗併用住宅のエスキス			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			日当たり良い部屋、スムーズな家事動線など、快適な住まいづくりに必要な建物の配置計画、平面計画の基本的な考え方を学びます。日頃から身近な家具や建具の寸法を意識し、住まいの間取りや動線について調べることから始めましょう。住宅計画演習でエスキスを完成させる独立住宅と店舗併用住宅のプランは、後期の製図と3Dインテリアで使用する課題となります。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴19年			